

## 令和２年度 静岡福祉文化を考える会事業計画

活動テーマ：つながるご近所の再構築 決め手は一体何か

ご近所福祉の復活 ―近助とは何かを探る―

本会は、阪神淡路大震災発生１年後の平成８年９月に結成して、今年度は、２５年目の節目の活動に入る。「災害と福祉文化」を追求する「地方発福祉文化の創造」に取り組む市民活動集団ともいえる。今日、大きな社会の変化で、災害問題をはじめ、長寿者・子どもの問題にとどまらず、地域社会全体の個人志向化・希薄化と共に、福祉コミュニティ組織運営のあり方も複雑多様化した課題が浮き彫りになっている。

本会の活動の基調は、

- ＊第一「専門性と市民性の融合の関わり」
- ＊第二「公開型地域総合型学習の企画と実践」
- ＊第三「課題解決のに向けたプロセス重視」

を、結成当初から、これまで福祉実践活動に掲げて展開し、今日に至っている。

この「活動基調」をもとに、さらに、常に３つの柱立てをもとに活動を展開している。

＊第１の柱立て「啓発学習事業」

「静岡発(地方発)福祉文化の創造」をめざして、県内各地の実践活動に学び「課題提起」をして「地域総合型啓発学習」に取り組んできた。

＊第２の柱立て「調査研究事業」

この２４年間、一貫して、その時代の社会問題を検証する目的で、２４種類の調査を県民の協力のもとに取り組み、その結果をその都度県民と共に地域総合型学習を通じて、課題解決に向けた議論を深め合ってきた。

＊第３の柱立て「実践地区活動事業」

広く県内各地の実践事例を共有し合い「地域診断」をし、確かな地域性を把握し、さまざまな実践活動を展開しながら、「協働」による福祉問題解決のプロセスの重要性を確認してきた。

「無縁社会」とも「有縁社会」とも置き換えられている現在の地域社会にあって今一度、「静岡発(地方発) 福祉文化の創造」のもと、「家庭・家族」を基盤に、地域住民自らがその存在感をもって生活できる地域環境に関わる努力により、誰もが安心して過ごせる地域ぐるみの居場所をもち、そこから生まれてくる「ご近所」により、世代を超えて語れる環境を創りだし「当たり前のことを当たり前にする地域づくり」に取り組む課題が求められている。

本会のこれまでのプロセス重視から、令和２年度の本会活動テーマを「つながるご近所の再構築の決め手は一体何か ―ご近所福祉の復活―」（近助とは何かを探る）を掲げる。そして、「地域環境」を再検証するとともに、地域住民一人ひとりが、住み慣れた生活圏域である「ご近所の再構築」に向けて英知を出し合う。

本会では、これまでに７年間静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」に取り組んだ。そして、「ホッと私のご近所福祉を創る」をテーマに、平成２５年度か

ら平成27年度までの3年間にわたり、若者と共に「生活圏域におけるささえあいをご近所福祉」と捉え、研究協議と福祉文化実践活動の末、「若者発 ご近所福祉かるた」（赤い羽根共同募金助成事業・鈴与マッチングギフト助成事業）を企画し製作を実現化した。

そして、その成果物を県内の各地に提供し、「ご近所福祉を学ぶ」教材として有効活用してきた。5年目を迎え、改めて、いまこそ「ご近所福祉の復活」を呼び掛け、成果物の活用度合いを把握し、この成果物こそ再デビューを呼び掛け、理論と実践の融合による「近助」を学び合う取り組みをする。

## 1. 令和2年度全体会（総会／第1回公開型研修会）の開催

＊日時 令和2年4月19日（日） 13：30～16：00

＊会場 静岡市葵区駿府町1－70 静岡県総合社会福祉会館 6階 602会議室

＊内容 研修テーマ：私のご近所 これからのご近所を創る

（1）基調報告「この1年を振り返る 25年目への挑戦・ご近所福祉を創る」

（2）円卓トーク「私のご近所 これからのご近所を創る」

## 2. 委員会の開催

＊実務型委員会構成を基に、〔代表〕〔副代表〕〔事務局長・次長〕〔会計〕〔監事〕〔委員〕が一丸となって、活動の進捗状況管理と検証に努める。

＊原則、「公開型研修会」開催日の前段に開催する。

＊広く会員や一般社会人にも参加を呼び掛け「公開型学習会」として位置付ける。

＊必要に応じて、臨時の委員会を開催する。

＊今年度の委員会開催は、次の通り開催する。

・第1回 4月19日（日） 10：00 県総合福祉会館6階602会議室

・第2回 6月21日（日） 10：00 静岡市清水区「寄ってっ亭」内

・第3回 10月 25日（日） 10：00 静岡市清水区「寄ってっ亭」内

・第4回 2月 14日（日） 10：00 静岡市清水区「寄ってっ亭」内

## 3. 研修・討議活動

### (1) 公開型学習会の開催

「定例委員会」をこれにあて、会員相互の情報交換の場及び日常的な実践活動につなげる。一般社会人参加も呼び掛ける。

### (2) 公開型研修会の開催

＊第1回 4月19日（日） 13：30～16：00

静岡市葵区駿府町1－70 静岡県総合社会福祉会館 6階 602会議室

研修テーマ：私のご近所 これからのご近所を創る

プログラム

（1）基調報告「この1年を振り返る 25年目への挑戦・ご近所福祉を創る」

(2) 円卓トーク「私のご近所 これからのご近所を創る」

＊第2回 6月21日(日) 13:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」内  
研修テーマ『ご近所を診断』

＊住民主体でご近所を診断(福祉文化実践調査の取り組み)

＊第3回 2月14日(日) 13:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」内  
研修テーマ『これで安心 ホットするご近所』

### (3)「第19回静岡県福祉文化研究セミナー」の開催

＊日時 11月25日(日) 13:00～16:30

＊会場 静岡市清水区迫分 「寄ってっ亭」

＊テーマ 『ホットするご近所のささえあいとは誰が創る?』

①問題提起「誰がご近所福祉を創るか、気になるこの先・・・」

②ミニシンポ「ご近所福祉に関わって」

＊市民、民生委員、老人クラブ、ボランティア、ワーカーからひと言

③ワークショップ「ほっとする、こんなご近所福祉をめざして」

＊参加者が思い思いに主体となって、議論した末、出来ましたこれで安心  
“私のご近所”

### (4)日本福祉文化学会中部東海ブロック活動への参加

＊第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会において、学会ブロック活動の基盤強化の目的で実現した「中部東海ブロック大会」の第2回大会開催に向けて、ブロック内学会員との連携を保持し、本会の福祉文化実践活動の発表の機会をもつ努力をし、「2020福祉文化元年」を維持確立できるように努める。

そして、第31回学会大会沖縄大会で、「静岡発 福祉文化の創造でご近所福祉を創る」

### (5)関係団体等への「福祉文化実践研修」への協力

## 4. 調査研究活動

(1) テーマ『近助 その意識と実態』調査の実施

＊ねらい：

「静岡福祉文化を考える会」は、この24年間「静岡発 福祉文化の創造」を目指した実践活動の大きな柱立ての一つに、その時代の地域社会を取り巻く様々な福祉課題を「調査テーマ」にした「調査研究活動」に取り組んでいる。また、その分析結果を、県内各方面での研修会や本会の公開型研修会などで公表し、世代を超えた「地域総合型学習」を通じて問題提起をし、県民一人ひとりの意識改革に努めてきた。

これまでの調査研究活動を振り返ると

➤ 平成09年度 ①「共働きに関する調査」

➤ 平成10年度 ②「私たちにとって、地域とは何かーその1ー意識と事態

調査」

- 平成 11 年度 ③「私たちにとって、家族とは何か調査」
- 平成 12 年度 ④「父親に関する調査」
- 平成 13 年度 ⑤「ボランティア活動実践者意識調査」
- 平成 14 年度 ⑥「大人を対象とした生きがいと就労に関する意識調査」
- 平成 15 年度 ⑦「青少年の生きがいに関する調査」
- 平成 16 年度 ⑧「地域とは何かーその 2ー意識と事態調査」
- 平成 17 年度 ⑨「子どもと社会環境に関する調査」(継続調査)
- 平成 18 年度 ⑩「子どもと社会環境に関する調査」(総括)
- 平成 19 年度 ⑪「地域活動と団塊の世代の役割に関する意識調査」
- 平成 20 年度 ⑫「長寿者の生きがい、その意識と実態に関する調査」  
(静岡県共同募金会助成事業)
- ⑬「日常生活と福祉情報に関する意識調査」  
(静岡县委託事業)
- 平成 21 年度 ⑭「長寿社会に関する県民意識と実態調査」  
(静岡县委託事業)
- 平成 22 年度 ⑮「いまこそ地域社会に福祉文化を拓く 生活圏域における  
支え合いとはなにか本音に迫る調査」 (静岡县委託事業)
- 平成 23 年度 ⑯「地域と私の居場所その意識と実態調査」  
(静岡县委託事業)
- 平成 24 年度 ⑰「家族ってなに その意識と実態調査」  
(静岡县委託事業)
- 平成 25 年度 ⑱「長寿者とつながる ホットするご近所づくりその意識と実  
態調査」 (静岡县委託事業)
- 平成 26 年度 ⑲「豊かに暮らせる地域づくりその意識と実態調査」  
(静岡县委託事業)
- 平成 27 年度 ⑳「若者の地域参加その意識と実態調査」
- 平成 28 年度 ㉑「ご近所福祉その意識と実態調査」
- 平成 29 年度 ㉒「居場所ってなに その意識と実態調査」
- 平成 30 年度 ㉓「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」  
(単純集計)
- 令和元年度 「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」  
静岡県社協ふれあい基金助成事業(考察提言)
- 令和元年度 ㉔「256 名の子どもたちに聞きました。ホットする地域で  
すか」静岡県社協ふれあい基金助成事業(考察提言)

と、「24 のテーマ」の調査研究活動に取り組んできた。通算 25 回目となる今年度は、活動  
テーマ：つながるご近所の再構築 決め手は一体何か ご近所福祉の復活 ―近助とは何  
かを探る― に基づき、「近助 その意識と実態調査」に取り組む。

a 調査項目は、(1)基本属性 (2)生活状況 (3)家庭・家族のこと (4)ご近所に関する意識

に關すること (5) ご近所に關する実態に關すること (6) ご近所への期待に關すること  
(7) ご近所との関わりに關すること (8) 自由意見 の8項目とする. 細部は「調査部会」で  
具体化する.

b 調査の展開: (1) 調査実施期間 (8月~9月), (2) 入力期間 (10月~11月), (3) 分析・考  
察 (12月~1月), (4) 公表 (3月) を予定

c 対 象 静岡県内に居住する県民 10代以上 300名

d 回収目標 150名程度

e 調査依頼/配布方法 会員 (現在 19名), 地域実践者 関係団体, 企業

(2) 日本福祉文化学会ブロック活動及び第 31 回学会大会全国大会において「地方発 福祉文化  
の創造 県民へのアクション 25年のプロセス」(仮称) 実践報告

(4) 「自主的共創社会実現研究会」の設置と運営

#### ①設置目的

「活動テーマ」に、県内実践活動者を中心に「自主的共創社会研究会」を設置し、実践  
活動からご近所福祉について、各参加者等から広く意見を求め、具体的な課題を基に、  
これからの地域づくりへの提言をまとめる。

②議論した「提言」は、関係機関・団体 (県地域福祉課、県地域振興課、コミュニティづ  
くり推進協議会、県社会福祉協議会) への提示をはじめ、マスコミ等への情報提供を通  
じて、広く県民に課題提起をする。

## 5. 広報・啓発活動

(1) 「機関紙発行計画」に基づき『OUR LIFE』の発行

\*年5回 A4版 4ページ構成 色上質紙印刷 500部発行

\*各号共通記事「日本福祉文化学会情報」「円卓おしゃべり」「事務局日誌拝見」  
「編集後記」

(1) 「機関紙発行計画」に基づき『OUR LIFE』の発行

① 年4回 A4版 4ページ構成 上質紙印刷 200部発行

② 各号共通記事:「コラム」「事務局日誌拝見」「編集後記」

➤ 第129号 (05/12) 『25年目の地方発福祉文化の創造にトライ』

➤ 第130号 (07/15) 『近助を探る いま地域で何が起きているか』

➤ 第131号 (12/12) 『協働社会で地域を変える』

➤ 第132号 (03/25) 『25年間を振り返る 新たな節目に向かって』

③ 「地方発福祉文化の創造」論議を会員及び関係方面に具体的に情報発信する。

④ 「学会ブロック通信」発行と連動し、学会HPへの紹介を依頼する。

⑤ 今年度取り組む「近助」をテーマとした課題提起、地域・団体・グループとの連携  
の状況、各地区から寄せられた実践活動の取り組み等を紹介する。

(2) マスコミ、関連団体への情報提供

## 6. 実践活動「若者発 ご近所福祉かるた」の積極的・有効的活用で「ご近所福祉」の検証

7年間の県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」から浮き彫りになった“ご近所福祉の再構築”を若者の視点から論議を深め、提言された読み札を精査し、「若者発“居場所”あり方研究会」の全面的な支援のもとに「かるた」の創作に取り組み、平成27年度に「若者発 ご近所福祉かるた」を100セット作成し5年目を迎えた。また平成28年度に作成した「若者発 ご近所福祉かるた 拡大版」2セットを有効活用して4年目。

幼児から大人まで、身近な地域の実践活動の場や行事の中で、「地域総合型学習」として楽しみながら活用し、安心して暮らし合う生活圏域づくりをめざす。

会員をはじめ、関係機関・団体・個人、各研究会会員、施設・グループ・サロン等に配布・設置した100セットの「かるた」の活用状況を把握し、「ご近所福祉」を検証し、地域社会に課題提起をしていく。

## 7. 現場視察研修

県内の「ご近所のささえあい活動」の実践活動地域を訪問検証し、これからの地域社会づくりへの提言につなげる。

## 8. コミュニティ組織との連携

コミュニティ組織との連携に努め、「ご近所」について、広く地域住民の意見を把握することに努める。

## 9. 関係・団体との協働・連携

- (1) 静岡県社会福祉協議会及び市町社協との連携（情報提供）
- (2) 静岡県コミュニティづくり推進協議会との連携（情報提供）
- (3) あしたの日本を創る協会との連携・情報提供
- (4) 日本福祉文化学会及び中部東海ブロック会員との情報交換
- (5) 関連大学・専門学校への情報提供
- (6) 静岡市ボランティア連絡協議会との連絡調整
- (7) ふじのくに未来財団との連携
- (8) 県内外の「関連研究会と「近助」に関する情報共有の機会を持つ
- (9) 福祉コミュニティ組織における実践的取り組みをしている地域の把握と情報交換
- (10) 「若者発 ご近所福祉かるた」及び「拡大かるた」設置団体等との日常的連携  
（施設、NPO法人、Vグループ）
- (11) 焼津福祉文化共創研究会による、小地域福祉活動との連携による「近助」の取り組みの現場に学ぶ実践活動を県域に共有していく